

事務事業名		県南部地区保育研究会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	保育課
	政策	2 安心して子育てのできるまちづくり					担当係	保育係		担当課長名	川俣 浩
	施策	2 子育てと仕事の両立支援					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 多様で弾力的な保育サービスの充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	6285	一般	3	2	5	県南部地区保育研究会参画事業					
事業区分	事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
							任意的事業・義務的事業		任意的事業		
							実施方法		直営		
							事業分類		参画事業		
							リーディングプロジェクト		該当なし		
							市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
県南部地区保育研究会の構成団体となり、保育所に従事する職員が研修会等に参加することにより、公立保育所職員の質の向上を図る。			(市の活動) ・負担金の支出 ・県南部地区保育研究会(佐野市グループ)への出席 (県南部地区保育研究会の活動) ・県南部地区研究会主催の研修会への参加 ・県南部地区保育研究会理事会への出席							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			県南部地区研究会の研修会、会議等への参加回数	回	21	11	10	10	10	
			県南部地区研究会の研修会等の参加者数	人	64	113	100	100	100	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
公立保育所従事職員(県南部地区保育研究会会員等) (参画対象団体) 県南部地区保育研究会			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			保育所従事職員数	人	234	235	235	235	235	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
職員一人ひとりが日々研究し、保育士・調理員としての資質を向上することによって、より良い保育サービスを提供できる保育所となる。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			研修会等参加職員数/保育所従事職員数	%	27	48	43	43	43	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
必要な保育サービスが受けられる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			延長保育利用者数	人	751	749	730	740	750	
			0歳児・1歳児の入所児童数	人	394	406	385	390	400	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	30	30	30	30	30	
	事業費計(A)	千円	30	30	30	30	30	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	30	負担金	30	負担金	30
	人件費	人	3	3	3	3	3	
のべ業務時間	時間	32	32	32	32	32		
人件費計(B)	千円	125	126	126	126	126		
トータルコスト(A)+(B)	千円	155	156	156	156	156		

事務事業名	県南部地区保育研究会参画事業	担当部	こども福祉部	担当課	保育課	担当係	保育係
-------	----------------	-----	--------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	県南部地区保育研究会が設立されたのをきっかけに参加するようになった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	入所児童の日々の保育に加え、多種多様な問題を抱えた保護者への対応・支援も重要な課題となっている。 また、アレルギー食への対応や食育・食の安全、衛生管理など多岐にわたる専門的な知識・経験が調理員にも求められ、個々の職員の資質の向上が必要となっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 保護者が安心して子どもを預けられる保育環境の整備を目的としているため、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 公立保育所の保育環境を向上させる事業であるため、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 保育所従事職員の研修等への参加が目的であるため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 県南部地区保育研究会として毎年保育に関する研究を続けており、保育の質の向上に成果をあげている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	類似事務事業名 理由・改善案
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 県南部地区保育研究会の負担金のため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 受益者に負担を求める余地がない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			